



J-OSLERのシステム概要

2017年12月9日
一般社団法人 日本内科学会

1. システム構築の必要性	
1) はじめに	・・・ 3
2) 新しい研修制度の全体像	・・・ 4
3) 新しい研修の仕組み	・・・ 5
4) システム設計上の最大想定ユーザー数	・・・ 6
2. システムの概要	
1) 利用イメージ	・・・ 7
2) システム利用者の役割	・・・ 8～9
3) 全体の流れ	・・・ 10
参考資料：システムフロー図	・・・ 11～16

1) はじめに

国民目線に立った安全かつ安心な医療の質を担保する新制度へ寄与するため、十分に練られた研修プログラムの下、内科を専攻する医師が利便性高く、研修履歴及び実績を登録し、審査を受ける仕組みが求められています。

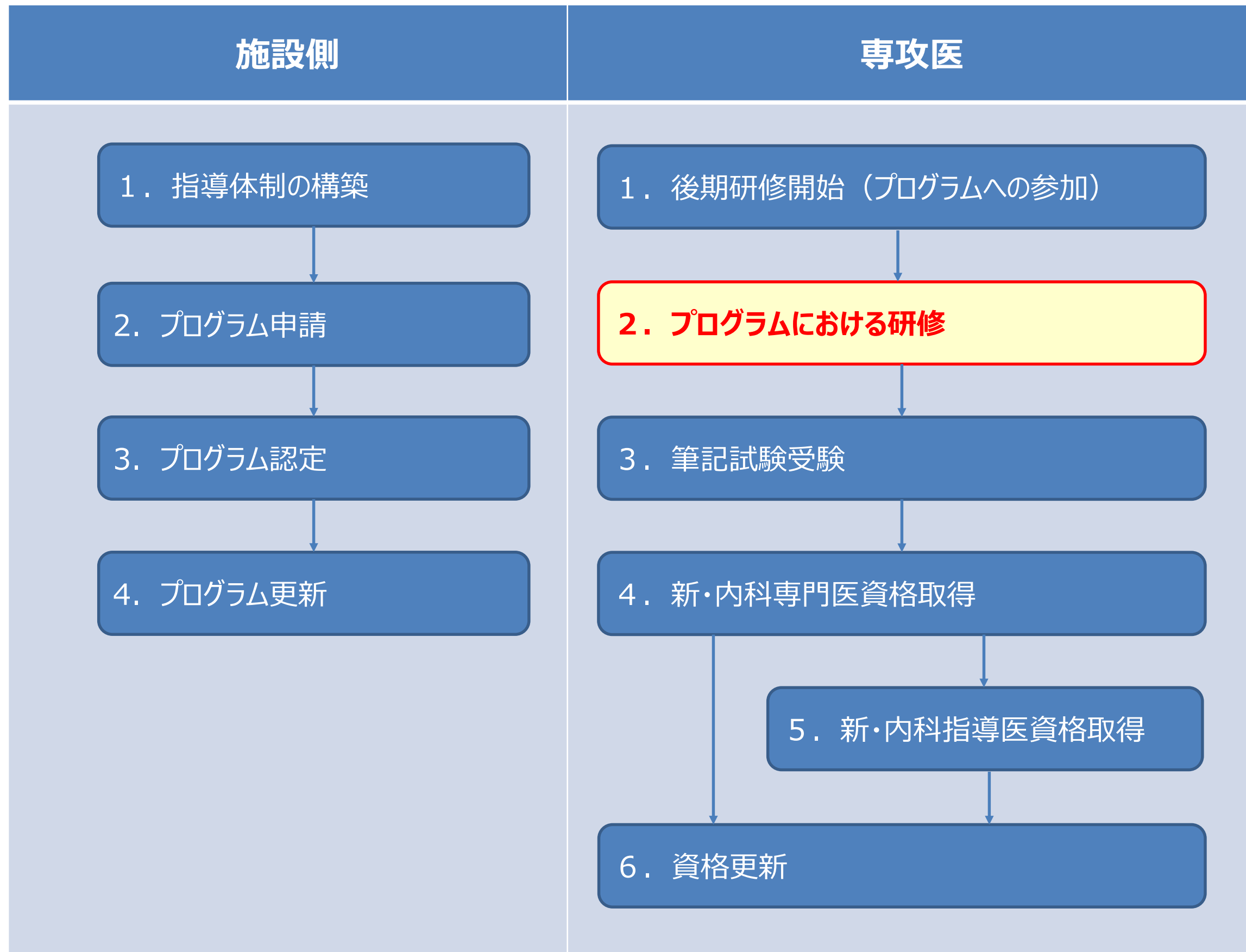
日本内科学会では、これらを実現すべく、専攻医登録評価システム（研修手帳、技術・技能評価手帳を実装）を構築しております。

システム名

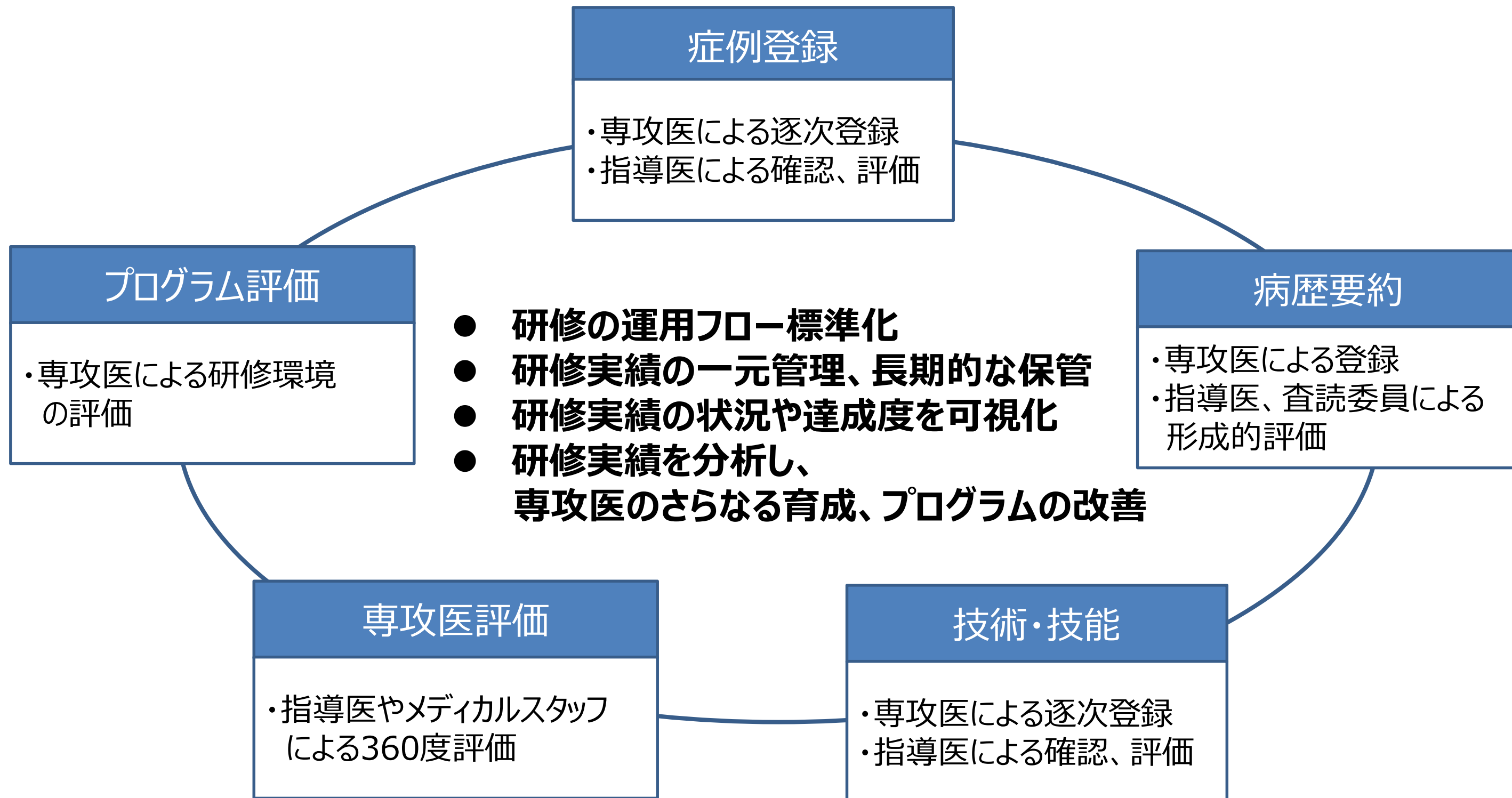
J-OSLER（ジェイ・オスラー）



Online system for **S**tandardized **L**og
of **E**valuation and **R**egistration of specialty training system



新制度下の研修開始に向けて、まずは研修実績を管理する仕組みの整備が必要。



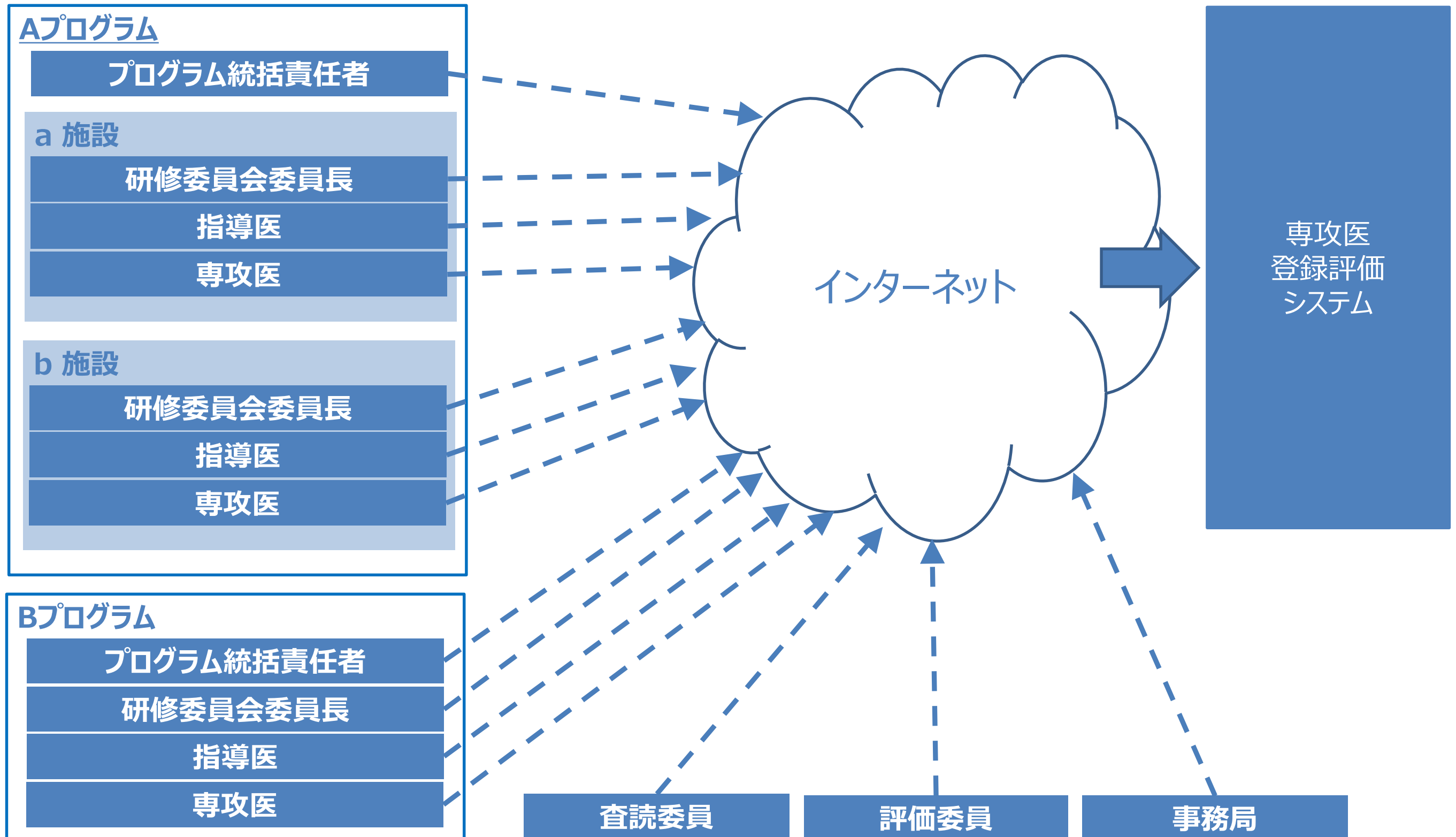
4) システム設計上の最大想定ユーザー数

種別	ユーザー数	
	初年度	5年後
専攻医	3,500	17,500
指導医	21,500	27,500
研修委員会委員長	5,000	5,000
プログラム統括責任者	550	800
査読委員	1,600	4,000
評価委員	60	60
合計	32,210	54,860

**研修実績として管理すべき項目の多様性と研修に携わる人数の多さを鑑み、
仕組みの実現には、システム構築が不可欠。**

1) 利用イメージ

- 全ての利用者がインターネットを介してシステムを利用する。
- 権限設定により、利用者がそれぞれの立場で情報の登録や参照を可能とする。



2) システム利用者の役割

システム利用者			利用機能	ボリュームの目安
プログラム内	専攻医		経験した症例の登録	200件～／3年（約6件／月）
			病歴要約の作成	29件～／2年6か月（約1件／月）
			経験した技術技能の登録	500件／3年
			自己評価	年2回
			指導医評価	年2回
			プログラム評価	年1回
	指導医	担当指導医	症例の評価	受持ち専攻医数×200件～／3年
			病歴要約（一次評価）	受持ち専攻医数×29件～／2年6か月
			技術技能評価	受持ち専攻医数×年2回
			専攻医評価	受持ち専攻医数×年2回
			360度評価（メディカルスタッフ）	受持ち専攻医数×年2回
			修了認定（担当指導医判定）	受持ちの専攻医（3年次）
		症例指導医	症例の評価	指導した症例数

2) システム利用者の役割

	システム利用者	利用機能	ボリュームの目安
プログラム内	研修委員会委員長	担当指導医選択承認	自施設の専攻医数（1年次）
		病歴要約（一次評価）提出承認	自施設の専攻医数（3年次）
		技術技能評価	自施設の専攻医数×年2回
		専攻医による自己評価確認	自施設の専攻医数×年2回
		専攻医による指導医評価確認	自施設の専攻医数×年2回
		指導医による専攻医評価確認	自施設の専攻医数×年2回
		360度評価（メディカルスタッフ）確認	自施設の専攻医数×年2回
		指導医の異動承認	随時
	プログラム統括責任者	専攻医のプログラム参加承認	自プログラムの専攻医数（1年次）
		専攻医のプログラム評価確認	自プログラムの専攻医数×年1回
		修了認定（最終判定）	自プログラムの専攻医数（3年次）
プログラム外	査読委員	病歴要約の二次評価	－
	評価委員	病歴要約の最終評価	－
	事務局	全体管理	－

専攻医登録評価システム

登録から症例登録／病歴要約の
各段階の流れと利用者各位の役割分担

経過年数3年目から
～

症例・病歴要約（二次評価）

専攻医 提出
査読委員 二次評価

症例・病歴要約（一次評価）

専攻医 作成・再開・評価依頼
指導医 一次評価
研修委員会委員長 提出承認

研修開始日から
～

経過年数2年目まで

病歴要約（一次評価）

専攻医 作成・評価依頼
指導医 一次評価

症例登録

専攻医 新規作成・評価依頼
指導医 評価

担当指導医選択

専攻医 選択
研修委員会委員長 承認

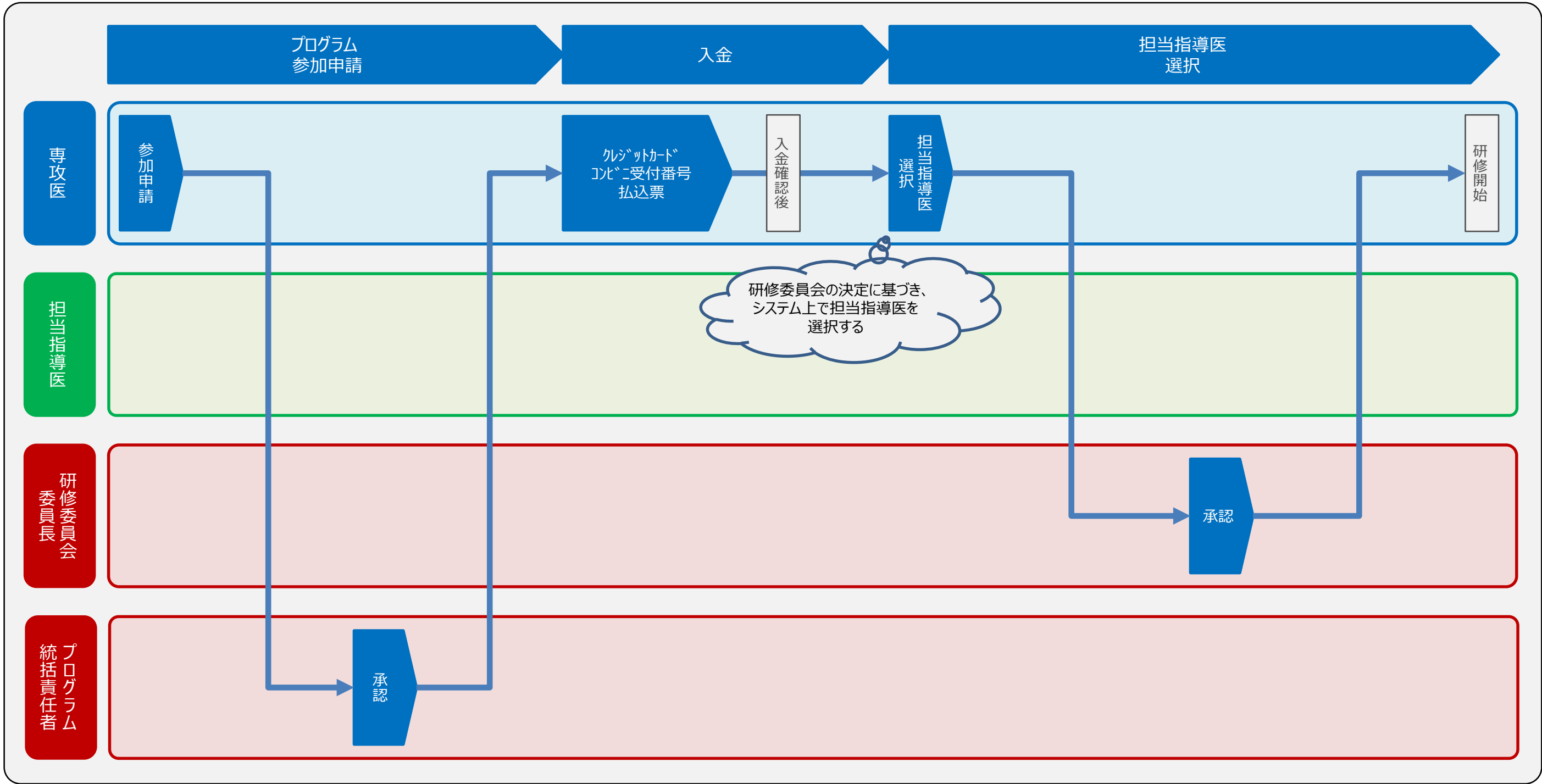
専攻医登録

専攻医 参加申請

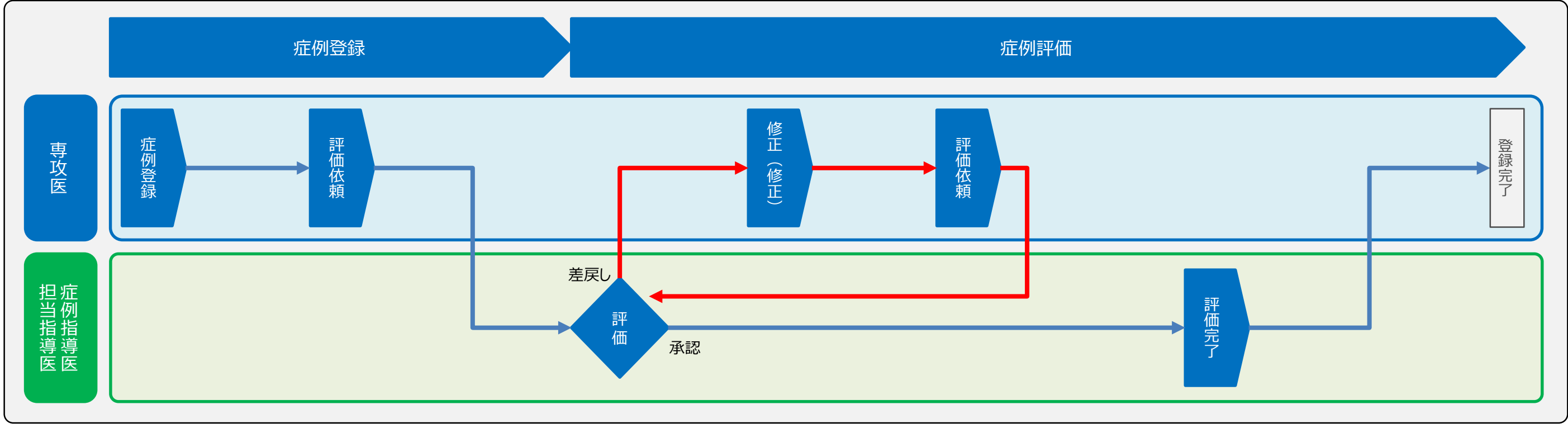


参考資料：システムフロー図

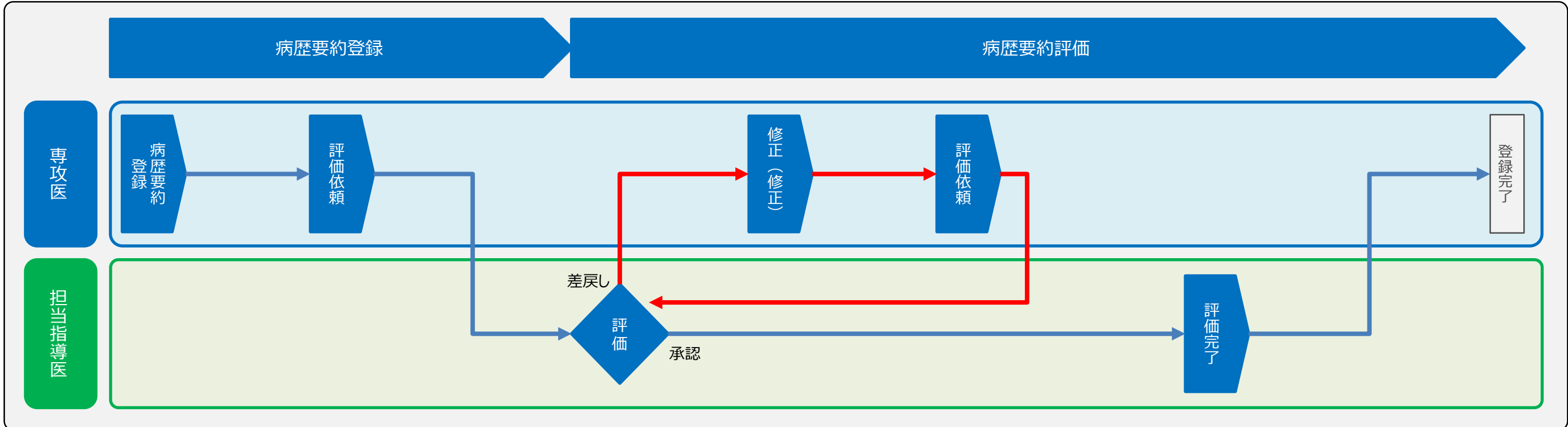
1) 専攻医登録



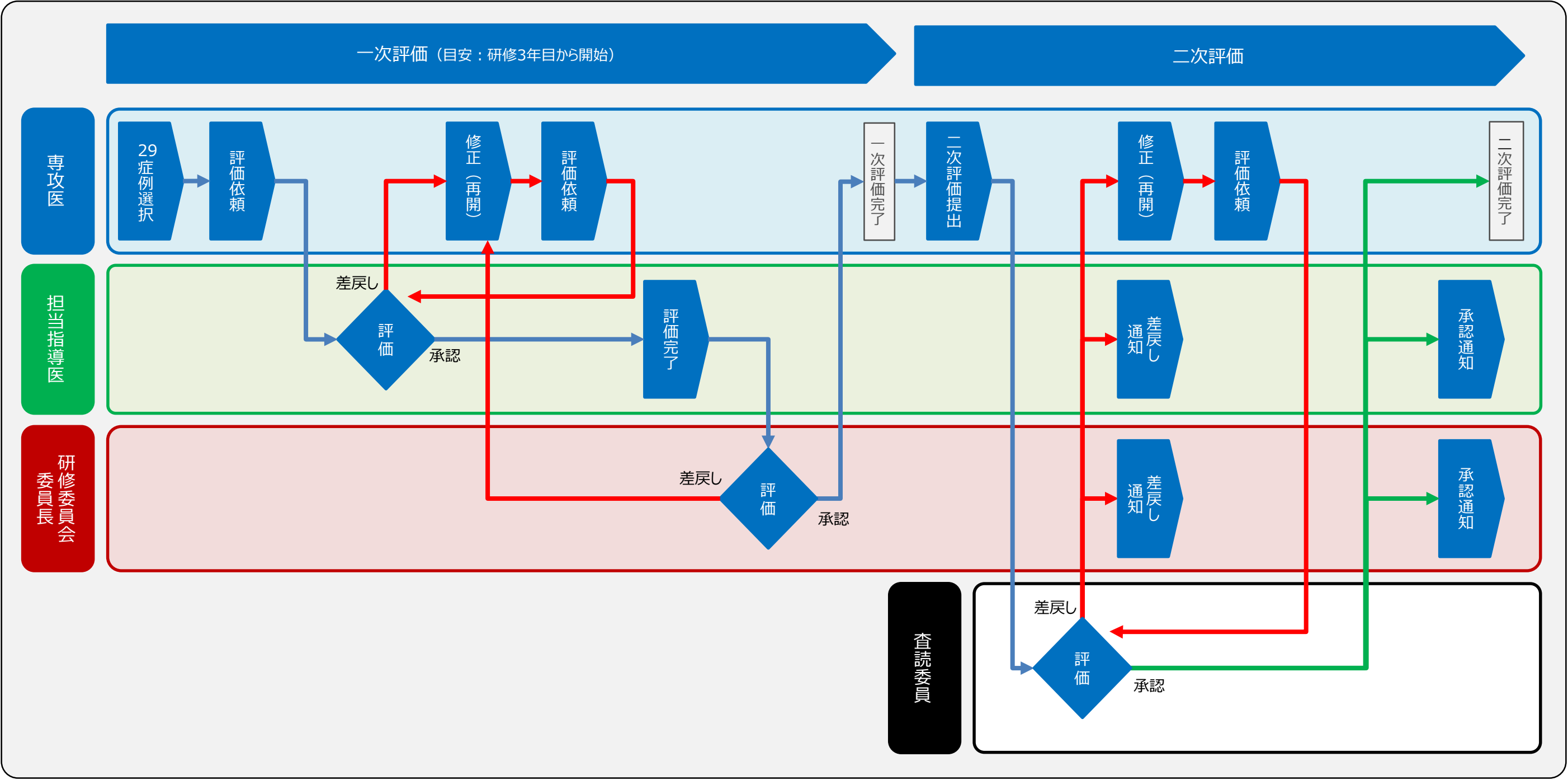
2) 症例登録



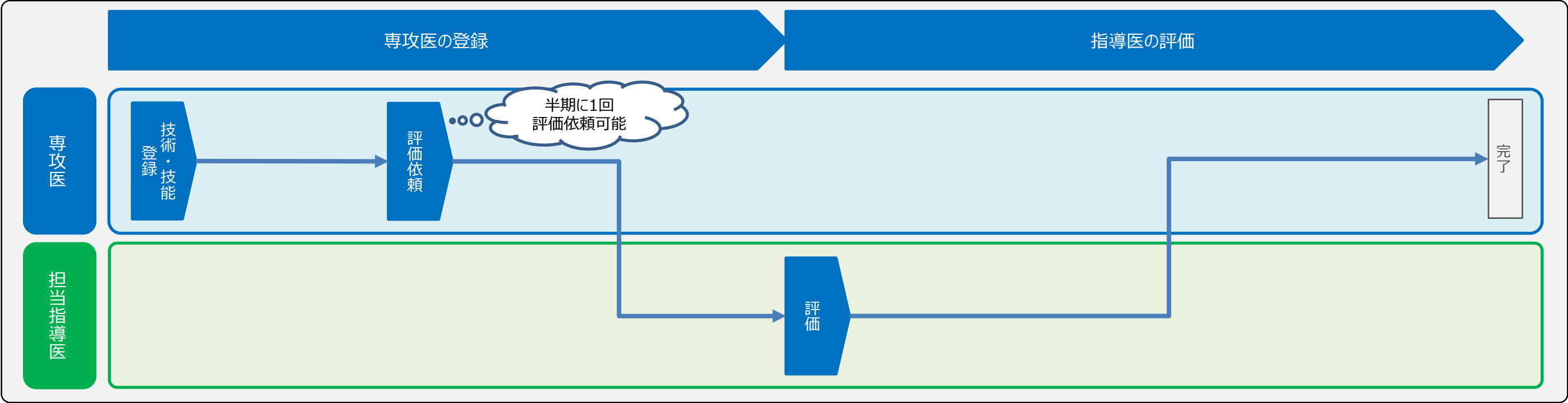
3) 病歴要約登録



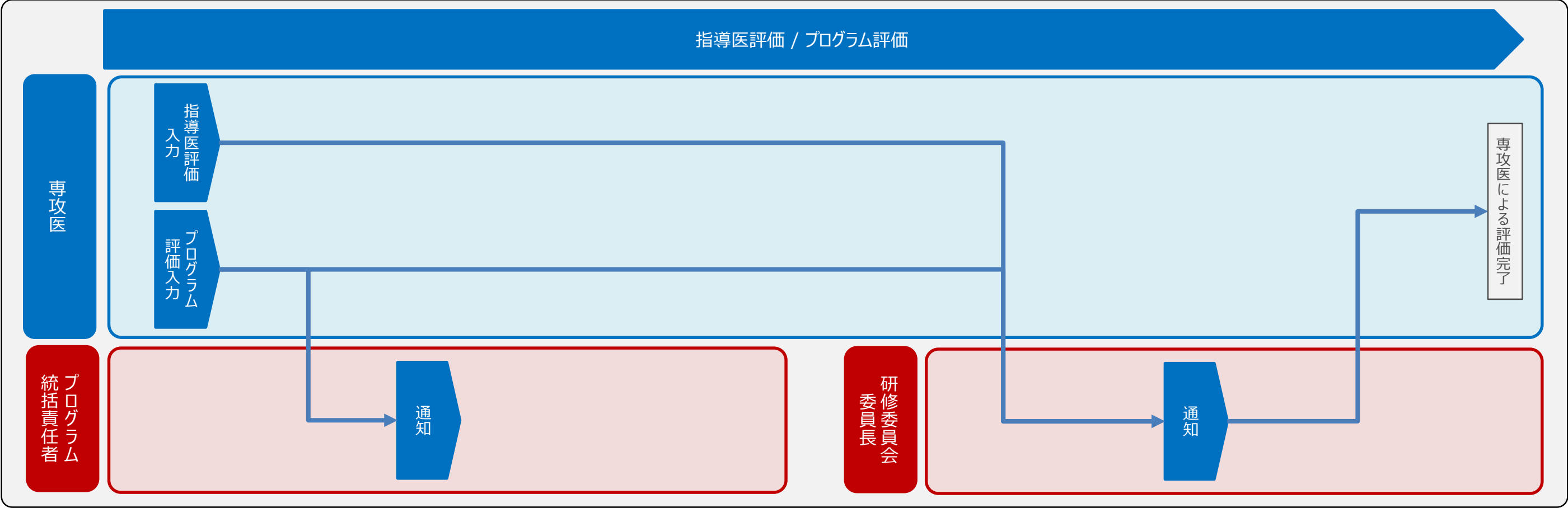
4) 病歴要約(一次評価・二次評価)



4) 技術・技能登録



5) 研修評価（指導医評価・プログラム評価）



6) 研修評価（専攻医評価・360度評価）

